



平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 株式会社 AOKIホールディングス

上場取引所 東大

コード番号 8214 URL <http://www.aoki-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 彰宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 田村 春生

TEL 045-941-1388

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	61,945	5.7	2,297	7.7	2,818	3.2	1,537	244.5
23年3月期第2四半期	58,603	1.2	2,132	70.6	2,730	59.8	446	51.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,544百万円 (627.1%) 23年3月期第2四半期 212百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	36.04	
23年3月期第2四半期	10.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	161,615	100,091	61.7
23年3月期	166,081	99,435	59.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 99,683百万円 23年3月期 98,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期		15.00		15.00	30.00
24年3月期		15.00			
24年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	140,700	6.1	11,500	5.0	12,400	2.8	5,500	53.8	128.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	49,124,752 株	23年3月期	49,124,752 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

24年3月期2Q	6,453,935 株	23年3月期	6,453,431 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	42,670,995 株	23年3月期2Q	42,672,572 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算説明会資料について)

当社は、平成23年11月25日(金)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災後の復興や節電需要などにより一部で景況感の改善が見られましたが、電力不足や世界的な景気減速懸念、円高の進行等により先行きは不透明な状況が継続しております。また、個人消費も自粛ムードから節電に対応したクールビズ需要などにより全体としては回復基調で推移したものの、景気の先行き不安などから回復に力強さがありませんまま推移いたしました。

このような先行き不透明な環境のなかで、当社グループは各事業において以下のような諸施策を実施した結果、売上高は619億45百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は22億97百万円(前年同期比7.7%増)、経常利益は28億18百万円(前年同期比3.2%増)、四半期純利益は15億37百万円(前年同期比244.5%増)と増収増益になりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(ファッション事業)

AOKIでは、「プレミアムウォッシュスーツ」、「プレミアムエアクールスーツ」、「AOKI空冷シャツ」等の機能性商品や「BIZニットシャツ」等の新たなスタイリング提案商品を中心としたクールビズ関連商品の品揃え・販促・演出・販売・売場環境等を強化するとともに、レディース商品や大人のお出かけ&ビジカジスタイルを提案したブランド「CAFE SOHO」を拡充し、既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では、4店舗を新規出店する一方、移転による3店舗を閉鎖した結果、当第2四半期末の店舗数は428店舗(前期末427店舗)となりました。

ORIHICA(オリヒカ)は、100店舗体制に備えた効率経営を推進するとともに、関東及び中京を中心に12店舗を新規出店する一方、2店舗の移転を含む3店舗を閉鎖した結果、当第2四半期末の店舗数は79店舗(前期末70店舗)となりました。

これらの結果、シャツ・スラックス等のクールビズ関連商品とレディース商品が好調に推移し、第2四半期累計期間の既存店売上高が前年を上回ったこと及び新規出店効果により、売上高は366億98百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は、ORIHICAの新規出店の増加に伴う費用を吸収し、6億32百万円(前年同期比5.9%増)と増収増益になりました。

(アニヴェルセル・プライダル事業)

ゲストハウスウエディングスタイルの挙式披露宴施設を展開しているアニヴェルセル株式会社は、平成23年4月に「アニヴェルセル 豊洲」を開業いたしました。また、既存店強化のため6施設のチャペル及び2施設のバンケットのリニューアルを実施いたしました。

これらの結果、「アニヴェルセル 豊洲」の寄与により、売上高は111億64百万円(前年同期比1.6%増)と増収になったものの、既存店の施行組数減少と新店及びリニューアルの経費が増加し、営業利益は5億45百万円(前年同期比30.6%減)となりました。

(カラオケルーム運営事業)

株式会社ヴァリックのカラオケルーム運営事業は、夏の販促企画として有名アーティストや人気キャラクターとのコラボレーションキャンペーンを実施し認知度の向上と来店促進を図りました。また24店舗のリニューアルを実施するとともに夏季限定メニューの提案、一部店舗でサマータイム営業を実施するなど、既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では6店舗を新規出店する一方、3店舗を閉鎖した結果、当第2四半期末の店舗数は、129店舗(前期末126店舗)となりました。

これらの結果、新規出店効果と近場レジャーの需要増加及びファミリーと法人営業による客数の増加等により既存店が好調に推移し、売上高は67億85百万円(前年同期比11.0%増)、営業利益は5億55百万円(前年同期比37.2%増)と増収増益になりました。

(複合カフェ運営事業)

株式会社ヴァリックの複合カフェ運営事業は、19店舗のリニューアルにより店内設備や店舗環境を整備するとともに、オンラインゲームとの共同プロモーションや携帯会員システムの導入により、来店促進を図りました。またモーニングやランチメニューの拡充、「がんばれ東日本応援うどんフェア」等を実施し、フードメニューを強化いたしました。店舗面では9店舗を新規出店した結果、当第2四半期末の店舗数は161店舗(前期末152店舗)となりました。

これらの結果、新規出店効果と避暑利用やサマータイム導入企業の増加による早朝の集客及びフード売上が伸びたこと等により既存店が好調に推移し、売上高は73億14百万円(前年同期比20.9%増)、営業利益は7億75百万円(前年同期比58.3%増)と増収増益になりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ44億65百万円減少し、1,616億15百万円となりました。

流動資産は、新規出店等によりたな卸資産が17億83百万円増加した一方、設備投資や法人税等の支払い等による現金及び預金が49億78百万円、売掛金が回収等により30億4百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ57億66百万円減少いたしました。固定資産は、新規出店等による有形固定資産が9億94百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ13億円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、季節的要因等により支払手形及び買掛金が14億51百万円増加した一方、法人税等の支払いによる未払法人税等が21億66百万円、一年内返済予定の長期借入金が7億11百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ24億65百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が約定返済等により27億12百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ26億56百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産の部は、四半期純利益等による利益剰余金が8億97百万円増加したこと等により6億56百万円増加しております。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は、前連結会計年度末と比べ49億78百万円減少し、132億70百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、32億45百万円(前年同期は32億42百万円)となりました。これは主に、法人税等の支払額及び還付額の純支出額が23億63百万円となった一方、税金等調整前四半期純利益が26億77百万円、減価償却費が28億24百万円となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、35億42百万円(前年同期は32億1百万円)となりました。これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得25億65百万円、敷金及び保証金の差入7億47百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、46億81百万円(前年同期は11億8百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の約定返済34億23百万円及び配当金の支払い6億40百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績をベースに出店計画等の見直しを行い、売上高を上方修正いたしました。新規出店はファッション事業で期初30店舗を39店舗に、カラオケ及び複合カフェのエンターテイメント事業で26店舗を29店舗に変更しております。なお、セグメント別についても以下のとおり修正しております。

【平成24年3月期のセグメント別予想】

	ファッション事業	アニヴェルセル・ブライダル事業	カラオケルーム運営事業	複合カフェ運営事業	連結
売上高(百万円)	89,000	23,320	14,000	14,400	140,700
前期比(%)	103.3	109.1	110.6	116.5	106.1
セグメント利益(百万円)	8,150	1,700	1,250	850	11,500
前期比(%)	102.1	126.4	109.8	100.4	105.0

(注) セグメント利益は営業利益ベースの数値であり、各セグメントの合計と連結との差異は、連結上の調整額です。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,249	13,270
売掛金	5,243	2,239
たな卸資産	15,279	17,063
その他	5,819	6,255
貸倒引当金	9	11
流動資産合計	44,583	38,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,922	41,458
土地	31,513	31,513
その他(純額)	11,059	9,517
有形固定資産合計	81,494	82,488
無形固定資産	4,021	4,239
投資その他の資産		
差入保証金	9,126	8,995
敷金	16,524	16,787
その他	10,376	10,332
貸倒引当金	45	45
投資その他の資産合計	35,981	36,070
固定資産合計	121,497	122,798
資産合計	166,081	161,615
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,163	12,614
1年内返済予定の長期借入金	6,597	5,886
未払法人税等	2,942	775
賞与引当金	1,430	1,340
役員賞与引当金	113	58
その他	9,277	8,383
流動負債合計	31,524	29,058
固定負債		
長期借入金	23,575	20,863
退職給付引当金	613	674
役員退職慰労引当金	1,408	1,445
ポイント引当金	681	707
資産除去債務	3,001	3,236
負ののれん	1,556	1,345
その他	4,284	4,192
固定負債合計	35,121	32,465
負債合計	66,645	61,523

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	24,788	24,788
利益剰余金	57,987	58,885
自己株式	7,080	7,080
株主資本合計	98,977	99,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198	191
その他の包括利益累計額合計	198	191
新株予約権	655	408
純資産合計	99,435	100,091
負債純資産合計	166,081	161,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	58,603	61,945
売上原価	32,371	34,596
売上総利益	26,231	27,349
販売費及び一般管理費	24,098	25,052
営業利益	2,132	2,297
営業外収益		
受取利息	38	35
受取配当金	58	60
不動産賃貸料	519	443
負ののれん償却額	486	486
その他	169	264
営業外収益合計	1,272	1,290
営業外費用		
支払利息	156	162
不動産賃貸費用	471	420
その他	46	186
営業外費用合計	674	768
経常利益	2,730	2,818
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	-
固定資産売却益	3	-
新株予約権戻入益	6	241
補助金収入	17	-
その他	1	-
特別利益合計	28	241
特別損失		
差入保証金・敷金解約損	-	18
固定資産除却損	33	65
減損損失	163	290
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,466	-
その他	48	7
特別損失合計	1,712	382
税金等調整前四半期純利益	1,047	2,677
法人税、住民税及び事業税	782	756
法人税等調整額	181	384
法人税等合計	601	1,140
少数株主損益調整前四半期純利益	446	1,537
四半期純利益	446	1,537

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	446	1,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	234	6
その他の包括利益合計	234	6
四半期包括利益	212	1,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212	1,544
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,047	2,677
減価償却費	2,643	2,824
減損損失	163	290
のれん償却額	275	274
負ののれん償却額	486	486
退職給付引当金の増減額(は減少)	4	60
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	26	37
ポイント引当金の増減額(は減少)	6	26
受取利息及び受取配当金	96	96
支払利息	156	162
差入保証金・敷金解約損	-	18
固定資産除却損	23	65
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,466	-
売上債権の増減額(は増加)	2,969	3,004
たな卸資産の増減額(は増加)	726	1,783
仕入債務の増減額(は減少)	896	2,035
その他	1,329	3,407
小計	5,250	5,705
利息及び配当金の受取額	70	72
利息の支払額	161	169
法人税等の支払額	2,554	2,899
法人税等の還付額	637	535
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,242	3,245
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,720	2,565
無形固定資産の取得による支出	284	341
敷金及び保証金の差入による支出	607	747
信託受益権の純増減額(は増加)	93	88
その他	317	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,201	3,542
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	6,000	-
長期借入れによる収入	13,000	-
長期借入金の返済による支出	4,196	3,423
社債の償還による支出	670	-
自己株式の取得による支出	1	0
配当金の支払額	640	640
その他	383	617
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,108	4,681
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,148	4,978
現金及び現金同等物の期首残高	16,997	18,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,146	13,270

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッション 事業	アニヴェル セル・プラ イダル事業	カラオケ ルーム運 営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	35,465	10,976	6,108	6,052	58,603		58,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	14	2		17	17	
計	35,466	10,990	6,110	6,052	58,620	17	58,603
セグメント利益	597	786	404	489	2,278	145	2,132

(注) 1 セグメント利益の調整額 145百万円には、セグメント間取引消去1,658百万円、のれん償却額 266百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,537百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「カラオケルーム運営事業」及び「複合カフェ運営事業」の各セグメントにおいて、主に店舗の閉鎖が決定し又は損益が継続してマイナスとなり回収が見込めなくなった固定資産について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においてはそれぞれ53百万円、58百万円及び51百万円です。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッション 事業	アニヴェル セル・プラ イダル事業	カラオケ ルーム運 営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,696	11,152	6,781	7,314	61,945		61,945
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	12	3		17	17	
計	36,698	11,164	6,785	7,314	61,962	17	61,945
セグメント利益	632	545	555	775	2,509	211	2,297

(注)1 セグメント利益の調整額 211百万円には、セグメント間取引消去1,592百万円、のれん償却額 266百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,537百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「カラオケルーム運営事業」及び「複合カフェ運営事業」の各セグメントにおいて、主に店舗の移転が決定し又は損益が継続してマイナスとなり回収が見込めなくなった固定資産について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においてはそれぞれ168百万円、61百万円及び37百万円です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行及び株主価値向上を目的として、平成23年11月9日開催の取締役会において、自己株式の取得及び一部の消却について決議いたしました。

なお、詳細は本日別途開示しました「自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式の消却に関するお知らせ」をご覧ください。